

【提言アイデア集】 4 消費・生活

<p>〈ゼロカーボンで 住みよいつくば市〉像</p>	<p>推進する取組 (市民(地域・事業者含む)は何をすることが必要か)</p>	<p>効果的な施策 (行政(つくば市・茨城県・国)は何をすることが必要か)</p>
<p>41 シェアリングが普及している</p>	<p>4111 使い捨てを減らすために、市民は、学用品を再利用する 4112 制服を買わなくても済むように、学校は、私服と制服を選べるようにする 4113 リサイクルのために、事業者は、すべての衣料品を店舗へ返却できるようにする 4114 カーシェアリングを利用しやすくするために、地域コミュニティ(自治会 etc..)が連携して、カーシェアリング体制を整える</p>	<p>4121 使い捨てを減らすために、市は、学用品を貸し出して繰り返し使う 4122 資源を有効利用するために、市は、教科書や参考書のデータの入ったタブレットを貸与する 4123 市は、公用車を使わないときにカーシェアリングに活用する</p>
<p>42 ゼロカーボンな消費・選択が容易である</p>		<p>4221 市民の選択を支援するために、国は、カーボンフットプリントの表示を製品等に義務付ける 4222 適切な買い替えを促すために、市は、買い替えをサポートするサービス等に補助金を出す</p>
<p>43 地産地消が進む</p>	<p>4311 市民は、地産地消の食品や商品を購入する</p>	<p>4321 地産地消のものが安く買えるように、市は、農家を支援(補助金・スタートアップ)する 4322 市は、地産地消推進センター(道の駅・朝市など)をつくる</p>
<p>44 フードロスや包装容器が減っている</p>	<p>4411 フードロスを減らすために、事業者は、賞味・消費期限間近の食品や規格外品が安く買える店舗をつくる 4412 フードロスを減らすために、事業者は、食品の量り売りをする 4413 食品の包装容器を減らすために、事業者は、過剰包装を見直し、マイ容器でも購入できるようにする 4414 事業者は、各家庭における食品の期限を管理するシステム(装置)をつくる</p>	<p>4421 国(県・市)は、フードロス削減に取り組む店の税を軽減する 4422 市は、食品の量り売りと過剰包装の削減のモデル店舗を作って実証実験をする 4423 市は、食品や農産物のロスをなくすセンターを設置する</p>
<p>45 その他</p>	<p>4511 事業者は、無人の(多機能・多用途の?)自動販売車を市内に走らせる 4512 リサイクルを促進するために、企業と研究所は、ゴミ自動分別技術を開発する 4513 事業者は、水素を中心とした(消費の?)まちづくり「水素タウン」をする</p>	<p>4521 市は、無人の自動販売車のしくみを整える 4522 市は、ゴミ自動分別技術を導入する 4523 国は、水素利用のための技術開発を支援する 4524 市は、ゼロカーボンを目指す取り組みを有名人に広報してもらう 4525 ゼロカーボンの取り組みを促進するため、市は、ゼロカーボンの取り組みを総合的に案内して、応援ポイントを付けるアプリを開発する</p>